

平成 2 6 年度

公立大学法人北九州市立大学の業務の実績に関する評価調書

○全体評価調書

○分野別調書

記 入 要 領

北九州市地方独立行政法人評価委員会

平成 2 7 年 7 月

公立大学法人北九州市立大学の平成25年度に係る業務の実績に関する全体評価調書

③ 全体

【全体評価】

○理事長・学長の強いリーダーシップのもと、平成25年度も計画の達成に向け、様々な取り組みにより大学運営の改善や効率化が実行されていることは高く評価できる。昨年の課題に対しても、長期的視点と、短期的視点の両方で迅速に対応されている。社会でニーズの高い「グローバル人材」の育成や、「地域活動」「環境活動」の教育や研究が成果を上げており、市立大学としての役割を果たす努力もなされている。

○教育分野では、文部科学省の補助事業である「グローバル人材育成推進事業」を中心に、その他にも多種多様な教育活動を実施し、成果を挙げつつ、ほぼ計画通りに進捗している。一方で、一般選抜入試の志願者が2年連続で減少していることが懸念材料である。18歳人口の減少など社会環境の変化を踏まえ、入試のあり方の検討を進めるとともに、入試広報戦略などにより大学の魅力をPRし、優秀な志願者・入学者が増えるように、より一層努力していただきたい。大学院教育については、定員の充足などの改善は見られる。しかしながら、基本的な方針と育成する人材像について卒業後の進路も含めて本質的な検討を行っていただきたい。

○研究分野に関しては、先進的な研究・開発や地域課題研究さらに付属研究機関による研究拠点の形成など、質的水準も高く、計画以上に進行していると評価できる。今後、さらに北九州市の新しい都市政策をリードする研究を進め、北九州市の発展に結びつけていくことを期待する。

○社会貢献分野では、「地域共生教育センター」、「まなびとESDステーション」等の諸活動、大学間連携共同教育推進事業などにより社会貢献も大いに進められている。

○管理運営分野についても、実態に応じた組織変更が行われ、計画が円滑に実行される体制となっている。また、外部研究資金については、目標を上回る額を獲得しているものの、減少傾向である。専門的な部署と職員の活用などを検討されたい。認知度向上プロジェクトについては、計画段階であり、今後その実行に期待したい。

③【全体評価】 ■評価委員が記述(箇条書き)

- 分野別評価の結果や大学の実績を端的に示す指標等を参考にしながら、中期計画の進行状況全体について『評価委員会』による評価(特筆すべき点や遅れている点、その他の意見等を記述)

- ・ 事業の実施状況について(分野別・分野横断的な事項の実施状況等について)
- ・ 業務運営の改善・効率化等について
- ・ 財務状況について
- ・ 法人のマネジメントについて
- ・ 市民への説明責任と透明性の確保について
- ・ 地域貢献を目指した特色ある取り組み等について

